

製品名: カテプシン D ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86678

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:45 kDa; Observed MW:45,43,28 kDa

抗原情報

遺伝子名	Cathepsin D
別名	CPSD; CLN10; HEL-S-130P
遺伝子 ID	1509
SwissProt ID	P07339
免疫原	ヒトカテプシン D の合成ペプチド

背景

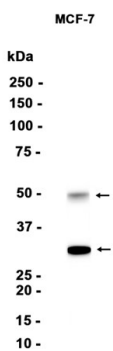
この遺伝子は A1 ファミリーのペプチダーゼをコードしています。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって複

数のタンパク質産物を生成します。これらの産物にはカテプシン D の軽鎖と重鎖が含まれ、これらはヘテロ二量体を形成して成熟酵素を形成します。この酵素はペプシン様活性を示し、タンパク質のターンオーバー、およびホルモンや成長因子のタンパク質分解活性化に関与しています。この遺伝子の変異は、神経性セロイドリポフスチン症 10 の原因となるだけでなく、乳がんやアルツハイマー病など、他のいくつかの疾患の病因にも関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2015 年 11 月]

研究分野

-

画像データ



カテプシン D ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した MCF-7 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。